

事務事業名		中小漁業関連資金通円滑化事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業																														
政策体系	政策名	0:5: 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間																															
	施策名	1:9: 地域活力を担う水産業の振興																																		
	基本事業名	0:2: 漁業経営の安定化と高付加価値化の推進			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 19 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入																															
根拠法令		大船渡市中小漁業関連資金通円滑化事業実施要領			予算科目 会計 01 款 06 項 03 目 02 事業 21																															
所属	部課名	農林水産部 水産課																																		
	係名	漁政係	電話	27-3111																																
			内線	335																																
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 【概要】 担い手として地域が支えようとする漁業者等に対して、融資対象物件以外の担保や第三者保証人の提供を受けない場合であっても、岩手県漁業信用基金協会(以下「協会」)が一定額まで債務保証を行うことができるよう、当該債務保証に係る特別準備金の積立を行う同協会に対して、市がその費用の一部を出えんする。 【手順】 漁業者・水産加工業者が金融機関に対して今制度を利用した融資の申込を行う。 金融機関は、協会に対して保証申込を行う。 協会は、県及び市の委員を含む保証審査委員会を開き、当該申込を受諾するか審査する。 審査を通過した申込についてのみ、協会から金融機関へ債務保証の承諾をする。 金融機関は申込者に対し融資を行う。(利率は金融機関設定によるもの) 協会から、国(漁業信用基金中央会)、県、市及び市内の漁協等に対して、債務保証に伴う出えんの依頼。 国、県、市及び市内の漁協等はそれぞれの率に応じた出えん金を協会へ支払う。					全体計画(期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td></td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源				事業費計(A)	0	人件費		正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0			トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金																																		
		都道府県支出金																																		
		地方債																																		
		その他																																		
		一般財源																																		
		事業費計(A)	0																																	
人件費		正規職員従事人数																																		
		延べ業務時間																																		
		人件費計(B)	0																																	
		トータルコスト(A)+(B)	0																																	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 当該事業は平成21年度で終了となり、同じく平成21年度に別事業が開始されたことにより、当該事業による融資申込者は無かった。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 当該事業が平成21年度で終了したため、今年度計画は無し。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 出えん額</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>イ 出えん件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 出えん額	千円	イ 出えん件数	件	ウ	
名称	単位								
ア 出えん額	千円								
イ 出えん件数	件								
ウ									
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市内の漁業者、水産加工業者	対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 今事業により融資を受けた漁業者</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ 今事業により融資を受けた水産加工業者</td> <td>社</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ 今事業により融資を受けた漁業者	人	キ 今事業により融資を受けた水産加工業者	社	ク	
名称	単位								
カ 今事業により融資を受けた漁業者	人								
キ 今事業により融資を受けた水産加工業者	社								
ク									
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 漁業者や水産加工業者が、今事業によって無担保、無保証人で金融機関より経営に必要な資金の融資を受けられる。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 漁業者、水産加工業者が受けた融資額</td> <td>万円</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ 漁業者、水産加工業者が受けた融資額	万円	シ		ス	
名称	単位								
サ 漁業者、水産加工業者が受けた融資額	万円								
シ									
ス									
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安定して高く売れる。									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度						
			17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(目標)	
投入量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円				36	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	36	0	0	0	
	正規職員従事人数	人			1	1	1	0	
	延べ業務時間	時間			40	20	5	0	
	人件費計(B)	千円	0	0	160	80	20	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	196	80	20	0	
活動指標	ア	千円			36	0	0	0	
	イ	件			2	0	0	0	
	ウ								
対象指標	カ	人			0	0	0	0	
	キ	社			2	2	0	0	
	ク								
成果指標	サ	万円			4000	4000	0	0	
	シ								
	ス								

事務事業ID	1297	事務事業名	中小漁業関連資金融通円滑化事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 平成17年度に国、県が中小漁業関連資金融通円滑化事業に係る要領を制定したことによる。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 平成21年度で終了。同年から別事業が開始され、市内企業2社が新事業により融資を受けた。新事業に対する市の出えん金は不要。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ➡ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ➡ 漁業、水産加工業の経営にとって資金融資の可否は重要であり、今事業により金融機関の貸し渋りが減れば、漁業、水産加工業の経営の安定につながる。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ➡ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ➡ 漁業、水産加工業の経営安定は、市内の水産業振興にとって必要であり、市内経済活動に影響するため当市が関与することは妥当である。 また今事業は、国、県と当市及び市内漁協等が全て出えんに同意しなければ、市内の漁業者、水産加工業者が利用できない制度のため、市が関与する必要がある。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ➡ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ➡ すでに国、県が定めた要領において、漁業者又は水産加工業者を対象としているため、適切である。 今事業の目的が、無担保、無保証人での融資が可能となることであるため、意図は適切である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ➡ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ➡ 平成21年度で終了したため。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 [理由] ➡ <input type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ➡ 平成21年度で終了したため。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ➡ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ➡ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ➡ 類似の融資に係る事業は存在するが、無担保、無保証人という制度ではないため、他事業との統廃合はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ➡	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ➡ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ➡ 事業費を減額すると、成果も下がるので、削減余地は無い。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ➡ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ➡ 業務時間は最低限であるので、削減余地は無い。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ➡ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ➡ 今事業の元となる、国、県の定めた要領において、漁業者、水産加工業者となっているため、見直し余地は無い。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">目的妥当性</td> <td style="width:10%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td style="width:20%;">適切</td> <td style="width:10%; text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="width:30%;">見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成21年度で終了。</p>	
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
有効性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
効率性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 平成21年度で終了。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	水産課	
-------	-----	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">目的妥当性</td> <td style="width:10%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td style="width:20%;">適切</td> <td style="width:10%; text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="width:30%;">見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由 平成21年度で終了。</p>	
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
有効性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
効率性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 平成21年度で終了。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項	
---------------------	--